

- 24日～鷺森別院で報恩講□1
- 仏教いろは問答□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光、過疎問題とお寺□4
- 実践運動計画書、会計決算□6
- 行事予定、響流十方□7
- つれもて聴こら□8



『紀伊国名所図会』に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2022年(令和4年)  
11月1日  
第133号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 Tel(073)422-4677 URL http://saginomori.or.jp/



昨年の報恩講のお勤めの様子(鷺森別院本堂)



11月24日～28日の5日間

# 鷺森別院 報恩講



講師の赤松徹眞師 1949年生まれ。龍谷大学文学研究科修了。龍谷大学名誉教授、本願寺史料研究所所長、奈良県眞光寺住職。

## 宗祖親鸞聖人のご遺徳しのぶ

### 龍谷大学名誉教授・赤松徹眞さんが法話

鷺森別院では11月24日から28日の5日間、弘長2年11月28日(新暦1263年1月16日)に数え年90歳で往生を遂げられた宗祖親鸞聖人の祥月命日をご縁として、恒例の「報恩講」を本堂でお勤めする。

#### 法要は一日一座 27日は通夜布教

法要は一日一座。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、法話は一席(45分)とする。講師は日本仏教史、真宗史が専門の龍谷大学名誉教授・赤松徹眞師。出講にあたり赤松師は、「報恩講は、宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのおはたらきで、煩惱具足の凡夫が往生浄土の道を歩ませさせていただくことに報恩謝徳のまことをささげる法要です。混乱する現代を苦悩、不

安をかかえて生きる私たちは、現代と自らを問うながら、宗祖の立教開宗の意義とともに、阿弥陀さまの摂取不捨のおはたらきを聞き思わせていただきたいと思います」と、メッセージ。

【法要】24日から27日まで、午後1時30分からお勤め、2時10分から3時ごろまで法話。最終日の28日は午前10時からお勤め、引き続き正午まで法話。

【通夜布教】27日午後6時からお勤めと蓮如上人が報恩講の意義を述べられた『御俗姓』拜読後、岩崎信(日高組蓮専寺衆徒)、柳岡直樹(御坊組管照寺衆徒)、島和夫(和歌山組西覚寺住職)の3師と赤松師が、それぞれ40分ずつ法話。

【参拝奨励】▽24日 寺族女性会、組長、一般▽25日 仏教壮年会、教区会議員、一般▽26日 門徒総代会、実践運動委員、一般▽27日 仏教婦人会連盟、鷺森別院責任役員・総代・参与、一般▽28日 門徒推進員、一般。

# 若葉と純真の

# 仏教いろは問答

6

▽仏さまにはだれもが一人っ子のように大切



若センセ純真



若葉

いつものように境内を掃除していた純真。その姿を見かけた高校生の若葉が、ちょうどよかったと言わんばかりに駆け寄ってきて、勢いよく口を開いた。

若葉 ねえ、聞いてくださいよ！純真さん！

純真 おや、若葉さん。いったいどうしたんだい？

若葉 昨日お母さんとケンカしたんですよ。もおほんとおムカつくんですよ。

純真 穏やかじゃないね。どうしてケンカしたの？

若葉 昨日は部活があったんですけど、いろいろしてたらいつもより遅くなっちゃったんです。それで帰ったら、お母さんが「何時だと思ってるの」って怒ってきましたんですよ。こっちは部

活で疲れてるのにそんな言い方ひどくないですか。

私も「ちょっと遅れたくらい別にいいじゃん」って言い返したら、お母さんがヒートアップしちゃって、勉強のことかいろいろ関係のないことまで言ってきた、それからは言い合いになって、今日は朝から口利いてないんです。あーっ、思い出しただけでイライラしてきちゃっ！

純真 そつうことがあったんだね。疲れてるときに怒られたらイライラしちゃうのは分かるなあ。

若葉 お坊さんでもイライラするんだ。純真さんがそうなるの、あんまり想像つかないかも。

純真 ぼくも普通の人間

だから、失敗したりうまくいかないことがあればイライラすることもあるよ。



イラスト=いぶりん

若葉 そうなんですわね…

でも今回はお母さんに対して悪いことしたわけじゃないし、なんでそんなに怒られなきゃいけないのって思っちゃうんですよ。

純真 若葉さんからしたらそう感じるよね。でもぼくはお母さんがそう言っちゃう気持ちも、ちょっと分かるかも。

若葉 えっ、本当ですか。

純真 うん。多分だけど、お母さんは若葉さんのことが心配だったんだよ。

若葉 えーっ、心配だったら怒らなくないですか？

純真 そうでもないよ。いつもより遅いってことで、何かあったんじゃないかと気にしてたのかも知れないよ。若葉さんは、遅くなるってあらかじめお母さんに伝えてたのかな。

若葉 えっと…気付いたら遅くなって急いで帰ったから、連絡してないな…

純真 だったら、すごく心配したんじゃない？。事故に遭ったんじゃないか、大変なことが起きてるんじゃないか…そう思うと、気持ちの余裕もなくなっちゃうからね。無事に帰ってきたらホッとすると同時に、もうそんなことがないようにひとこと言いたくなっちゃうのかも知れないよ。

若葉 そう言われると、こっちも心配かけたのちょっと悪いことしたかなって思うかも…。

純真 なかなか気付けないものだよ。このお寺は仏教のなかでも浄土真宗とって阿弥陀さまという仏さまに手を合わせるお寺なんだけど、「二子地」という言葉があったね。仏さまは、どこまでも深い慈悲のお心でぼくたち一人ひとりを一人っ子のように大切に思ってくれているんだ。

でも、ぼくはとてもじゃないけど仏さまのお心の百分の一も千分の一も気付いてない。だからといって仏さまは怒ったり責めたりされないけど、そうするとなんか余計に申し訳ない気持ちになって、「ありがとうごさいます」って言いにくくなるんだよ。

若葉 …お母さん、うるさく言ってるだけだと思っただけど…私のこと、そんなに大切に思ってくれたのかなあ。帰ったら、ちゃんと謝ろう。あと、ありがとうって言ってみようかな。

純真 うん、いいと思うよ。これからお母さんと仲良くね。

(本紙・辻本真一朗)

新

# 祖蹟点描

## 35 六角堂⑨

のだが、もう一つ挙げておきたいのは、親鸞聖人の玄孫・存覚上人が親鸞聖人の遺徳をたたえられた『嘆徳文』のお言葉である。

『嘆徳文』の一節には、「近くは根本中堂の本尊

に対し、遠くは枝末諸方の靈囀に詣でて、解脱の徑路を祈り、真実の知識を求む

ことに歩みを六角の精舎に運び、百日の懇念を底すところに」（原漢文、『註釈版聖典』1077〜78

### 「歩みを六角の精舎に運びて」

つまり、親鸞聖人は、近くは比叡山の根本中堂のご本尊（薬師如来）へ、遠くは礼拝の場所となっているあちこちの岩室にまで参つて、煩惱から解放される道を願い、まことの導きとなる人や機縁を求められた。そしてとりわけ六角堂へと歩みを運んで百日心を込めて念じられた、のだという。「歩みを六角の精舎に運



寄山北の立願寺（旧跡）で、中本比叡の途には、親鸞聖人の遺徳をたたえられた六角堂（山門）と、親鸞聖人の遺徳をたたえられた別院（西側）

びて」という表現は、比叡山から六角堂へと一歩一歩足を運んでいくという「歩行」と六角堂への「距離」にフォーカスしている感じを受けるが、やはり参籠の形式までは分からない。

整理しておく、恵信尼公のお手紙の「山を出でて」という表現をどう読むか（本連載第32回参照）と、参籠をこもりきりと考えるか通いと考えるかで、次の4つの組み合わせができる。

①比叡山の僧という立場を捨てて、六角堂にこもりきりで参籠された。  
②比叡山の僧という立場を捨てて、六角堂に通いで参籠された。  
③比叡山の僧という立場のまま、六角堂にこもりきりで参籠された。  
④比叡山の僧という立場のまま、六角堂に通いで参籠された。

その由緒を記した案内板には、「親鸞聖人が比叡の山より、六角堂の救世観音に百日間の参籠をなされた際この地に杖を定められて、往きにはこの水で心身を清められ、帰りにはしばしご休息の後草鞋の紐を締めなおされて雲母坂の險路に向かわれたという深いご因縁のある井水であります」とある。親鸞聖人の六角堂参籠の道中に思いをはせながら、ぜひお参りしたい場所。北山別院へは、京都駅から地下鉄、京阪電車、叡山電鉄を乗り継ぎ約40分、叡山電鉄の「乗寺」から東へ徒歩で15分ほどかかる。

※本願寺北山別院については、『宗報』2015年（平成27年）9月号掲載の「直属寺院紹介25 本願寺北山別院」を参照し、同稿を執筆された神保尚子さん（浄土真宗本願寺派宗務所庶務部文書担当）から貴重なご教示を頂いた。（本紙編集部）

# 仏典に現れた介護・看護・自死

## お釈迦さま当時の事例に学ぶ

和歌山教区寺族青年連盟(荻野龍裕委員長)の研修会が10月7日に鷺森別院書院で開かれ、日本仏教と戒律思想が専門の龍谷大学文学部仏教学科・大谷由香特任准教授の講義「仏典に説かれた教えと、現代に生きる私たち」を聴いた。講義は戒律をまとめた「律蔵」に現れる事例から、約2500年前の仏教教団において介護・看護・自死に関わる苦しみにお釈迦さまがどのように寄り添われたか学び、その精神を現代に生かすという趣旨で行われた。大谷講師は京都からオンラインで講義、希望者は自宅や他会場でも研修に参加した。

### 大谷 龍谷大学 仏教学科 特任准教授が講義



京都からオンラインで講義する大谷由香・龍谷大学特任准教授



スクリーンに向かい研修

### 講義要旨

お釈迦さま在世当時のインドでは、さとりを目指すために家庭生活や仕事をいっさい捨てて修行に専念する人々が共同生活をしました。食事は托鉢によって得るわけですが、掃除・洗濯・裁縫などの家庭が担っていた仕事は自分たちでやる必要がありました。特に介護や看護は大きな負担で、今でもいうネグレクト(養護放棄)の問題も起こりました。これに対してお釈迦さまは、①病人の衣服を清潔にして日にさらす、②室内を清潔にしてベッドを清潔に

薬・病いが進行するような食べ物や欲しい、高い場所に連れて行ってほしい、と懇願します。仲間の比丘がその望みに応えたいので、これらの比丘たちは自ら命を絶ってしまいました。

このことによって、自死の手助け(自殺ほう助)や殺してくれそうな人を紹介すること、自死を勧めることは禁止されました。

では、自死を望む比丘に對してはどのように接するべきだったのでしょうか。重病を患うチャナンも自死を望む比丘でした。チャナンを見舞ったお釈迦さまの高弟舍利弗は、自死したいと言うチャナンに對し、私があなたの世話をし、必ずあなたの意に沿うようにしますから、どうか生きてくださいと言います。

しかし、結局チャナンは自死してしまいます。それを知ったお釈迦さまは、チャナンがいかに素晴らしい人物だったかを弟子たちと語り合い、「死後はどうなったのか」という質問には、このような素晴らしい人物が輪廻の迷いを離れなかつたはずがないと言われ、チャナンが自死したことを決して責められなかったのです。



紀の川市光明寺でも研修に参加

## 鷺森別院で謎解きに挑戦

9月19日、和歌山教区仏教青年連盟(大岡和真委員長)が主催する教区の集い「謎解きゲーム・鬼を見つめる物語」が鷺森別院書院で行われ、6人が参加。ゲームを制作した謎工房てくてく代表の上田武史さんから、村人8人のなかから鬼にされている人を見つけ出し人間に戻すというミッションを与えられた参加者は、2チームに分かれ、クロスワードや迷路に挑戦して必要な言葉を発見するなど、謎解きを楽しんだ。



クロスワードを解く参加者

## 廃材使いゲーム考案

少年連盟指導者研修会

第3ブロック少年連盟指導者研修会が9月5日、担当の大坂教区と滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫の近畿

## 和歌山から平和の鐘 中継

### 第42回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

お釈迦さま在世当時のインドでは、さとりを目指すために家庭生活や仕事をいっさい捨てて修行に専念する人々が共同生活をしました。食事は托鉢によって得るわけですが、掃除・洗濯・裁縫などの家庭が担っていた仕事は自分たちでやる必要がありました。特に介護や看護は大きな負担で、今でもいうネグレクト(養護放棄)の問題も起こりました。これに対してお釈迦さまは、①病人の衣服を清潔にして日にさらす、②室内を清潔にしてベッドを清潔に



平和への願い込め一打(海南市了賢寺)

追悼法要が9月18日、国立 都千代田区三番町)で勤められた。

同法要は、日中戦争、太平洋戦争の発端となった柳条湖事件の起こった日に、すべての戦争犠牲者を追悼して毎年勤められているもの。法要の様子は浄土真宗本願寺派の公

④病人の身体に触れて優しい声掛けをする、という現代から見ても理想的な看護を自ら実践されています。しかし、すべての弟子が

式YouTubeチャンネルでライブ配信された。午後1時15分からの「平和の鐘」では、東北・石川・和歌山・福岡の各教区の鐘つきの会場から中継。和歌山教区では、海南市冷水の了賢寺で松本教智住職、総代の方々、仏教婦人会の会

象にした墓地清掃と墓参りの代行事業です。法事やお寺の法要のご門徒との会話から、お墓参りに行きた

アラーの問題に通じる苦悩があります。病気の苦しみから自死を選ぶ比丘もいました。病気の比丘たちは、刀・縄・毒

たいと悩む人にどう寄り添うのか、大切な方を自死で亡くされた遺族にどう寄り添うのかを学ぶことができるのではないのでしょうか。

# 青色青光

員合わせて15人が、一打ずつ梵鐘をつき、その後は本堂に設置されたモニタールを通して追悼法要に参拝。総

「『いま、私たちにできること』」新型コロナウィルス感染症の流行の中で「をテーマに開催。和歌山教区からは山本行圓さん(教区少年連盟委員長)、亀井道子さん(有田北組發願寺の発願寺キッズ運営者)、梶信敬職員が参加。ペットボトル、家庭用ラップの芯、新聞紙などの廃材を用いたゲームを創るという課題にトライし、他教区の参加者らに向けて実演発表した。

間契約で、依頼者の経済状況をはじめ、区画の大きさや依頼内容によって懇志額を設定しているそうです。墓地の維持管理に不安を持つ方が年々増加していることもあり、今後も依頼が増えると思われま

## 過疎問題とお寺⑥

### 墓地清掃の代行事業

楠原 晃紹

(過疎対応支援員)

ナの影響で布施収入が激減するなか、将来的な寺院運営に不安を持たれ、昨年、本山の寺院活動支援部に相

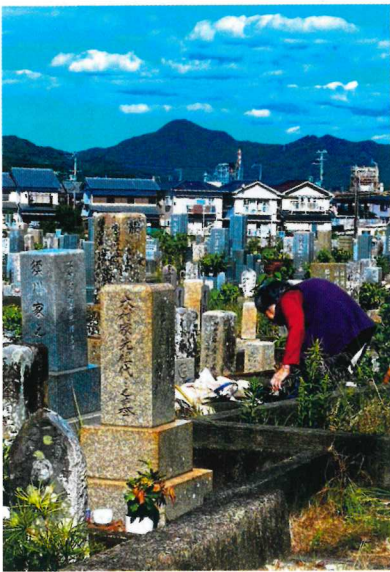
## お墓参りができないとの声に応え

### 新宮市長徳寺の若さんが奮闘

談依頼をされました。それを受けて昨年6月に初めてお寺に伺って以来、過疎対応支援員として支援をさせていただいております。

今年4月、2回目に伺った際には、以前から聞いていたアイデアの進捗状況について、恵信師から詳しくお話を聞きました。

そのアイデアとは、高齢化や離郷によりお墓参りができずに困っている方を対



長徳寺のご門徒さんのお墓の多くがある新宮市営墓地

くても行けない、遠方のため頻繁にお参りできないといった声を聞き、それなら自分が代行しようと思

恵信師は若さゆえの柔軟な思考で、従来の寺院運営にこだわらず、墓地清掃の代行事業以外にもできることは何でも実行しようと、さまざまアイデアを出して奮闘されています。その熱意と行動力に深く感銘を受けました。引き続き、見守りながら支援していきたいと思

当初はごく少数のご門徒さんからの依頼でしたが、噂がまたたく間に広まり、今では100件以上の依頼があります。代行事業は年

(日高組妙願寺住職)

紀南組長徳寺(新宮市馬町)の衆徒で寺院後継者である佐々木恵信師は、要介護状態にある父幹三住職を補佐すべく安芸教区(広島県)の寺院の法務員を退職し、自坊に戻られ法務を引き継いでおられます。しかし、昨今の新型コロナ

2022年度

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 和歌山教区委員会 重点プロジェクト

総合基本計画

和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝燈奉告法要のご親教「念仏者の生き方」に学び、自他ともに心豊かに生きることのできる社会をめざし、さらに僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、また、寺院活動の活性化をはかり、ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげるため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

スローガン

「結ぶ絆から、広がる縁へ」

活動内容

運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、教区の会議体、教化

団体、各種団体とともに、左記の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

研修部会 僧侶・寺族の研修、伝道教化・法座活動の実践と支援に関すること  
教化部会 連研、門信徒の教化、子ども若者ご縁づくりの推進に関すること  
広報部会 教区報・テレビホン法話・ホームページなどさまざまな媒体を使用した広報活動に関すること  
社会部会 人権啓発、平和問題への取り組み、社会福祉活動推進に関すること

重点プロジェクト

【重点プロジェクトについて】

「重点プロジェクト」は、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)総合基本計画に基づき、具体的な実践目標を定め取り組むものです。和歌山教区では、「重点プロジェクト」の

2021(令和3)年度 和歌山教区一般会計歳計決算

2021(令和3)年4月1日 ~ 2022(令和4)年3月31日

歳入の部

Table with 4 columns: 款, 費目, 決算額(円), 説明. Rows include 教区賦課金, 宗派交付金, 願記手数料, 回付金, 雑収入, 繰越金, and a total row.

歳出の部

Table with 4 columns: 款, 費目, 決算額(円), 説明. Rows include 実践運動推進費, 会議費, 宗会選挙事務費, 教務所費, 維持費, 回付金, 予備費, and a total row.

※歳入合計から歳出合計を差し引いた10,938,340円は翌年度へ繰り越し

「実践目標」を「(1) 貧困の克服に向けて『Dana for World Peace』子どもたちを育むために」、「(2) 本願寺鷲森別院再建30周年に向け寺院活動の活性化をはかる」と掲げ、組・寺院と連携しつつ、強力に取り組みを進めていきます。

推進機関

▼達成目標 (1) 今、私にできることから始めよう (2) ともにお念仏を喜ぶ仲間の輪をひろげる ▼推進計画 (1) 具体的活動の設定 (2) 門信徒学習会の開催 【名称】 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 和歌山教区委員会 ▼委員紹介 ▼委員長 宇多光誠(伊那組光明寺) ▼副委員長 藤範信介(伊那組光円寺)、山本行圓(伊那組蓮乗寺) ▼中央委員 宇多光誠(伊那組光明寺) ▼常任委員 北條一穂(紀南組妙道寺)、得中茂(和歌山組称名寺)、中牟田貞良(和歌山東組聞光寺)、釘貫祐史(和歌山西組西往寺)、北本一紀(和歌山北組浄源寺)、玉川俊哉(加茂組徳願寺)、加藤義秀(海南組光徳寺)、仲河泰秀(海草組称名寺)、志場正敏(有賀組正善寺)、板原允弘(有田南組門光寺)、川嶋周藏(有田北組光明寺)、荻野益次(日高組浄明寺)、玉置信夫(御坊組光徳寺)、小野秀康(紀南組勝専寺)、岩崎法明(日高組蓮専寺)、荻野龍裕(海南組浄國寺)、中嶋淳子(海南組光明寺)、加藤諭絵(和歌山西組万福寺)、竹本淳一(和歌山西法寺)、吉田敬子(和歌山東組正善寺)、田端三津雄(日高組宝国寺)、保田史郎(和歌山北組浄源寺)、伊井智雄(和歌山組極楽寺)、大岡和真(和歌山教区仏教青年連盟委員長) ※敬称略

# 仏青主催のボードゲーム会

## 11月12日10時～鷺森別院で



ボードゲーム会の様子 (6月11日)

和歌山教区仏教青年連盟では11月12日午前10時から「TテRAラMAマTトEト」を鷺森別院ドゲーム会を鷺森別院書院で開催する。

TテRAラMAマTトEトとは、「お寺(TテRA)」と

「仲間、友達(MマTトE)」を掛け合わせ、お寺で仲間をつくるきっかけになればとの願いから名付けられ、2020年(令和2)11月14日からボードゲームを通じて交流を行っている。

### 敬 弔

- 荻野秀子(海草組教蓮寺・坊守) 4月5日
- 西川智雄(和歌山北組真稱寺・前任職) 4月30日
- 佐々木信彦(有田北組教念寺・前任職) 6月1日
- 武枝芳子(紀南組西法寺・前坊守) 7月3日
- 河野英俊(和歌山北組善教寺・前任職) 7月22日
- 榎本宗雄(紀南組満願寺・)

前任職) 8月5日

濱口悦子(有田南組安楽寺・衆徒) 8月29日

生前のご活躍で尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。

### 鷺森別院の催し

- 常例法座 11月15、16日
- 藤澤めぐみ師(京都伏見区周防町・興禅寺)。12

月15、16日 河野教真師

(京都下京区梅小路西中町・圓光寺) いずれも午後1時30分からお勤め、引き続き3時ごろまで法話。

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-422-4677)

### 日高別院の催し

報恩講 12月2日から4日の3日間、報恩講を勤修する。2日は午後1時15分から御坊幼稚園児が参

拝し、菅原吉人園長が法話

3、4日は、午後1時30分からお勤め、引き続き、柳岡直樹師(御坊市園・常照

### 教務所・別院人事

新職員 8月17日付で、中村美裕師(21歳、和歌山西組建徳寺衆徒)が和歌山教区教務所・鷺森別院に非常勤職員として採用された。中村新職員は、「相愛大学人文学部」の4年生です。仏

寺)の法話を聴聞する。(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話0738-22-0518)

教文化を専攻し、部活動では宗教文化研究隊に所属しております。趣味はカフェ



中村美裕新職員

巡り。教務所・別院での仕事は初めての事ばかりで色々ありますが、精一杯頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。異動 10月1日付で、小宅裕職員(兵庫教区神戸湊組浄榮寺衆徒)が浄土真宗本願寺派宗務所僧侶養成部(布教使担当)へ。小宅職員は昨年12月1日付で浄土真宗本願寺派宗務所から出向、10カ月間勤務した。

# 郷音流十方

## 11〜12月の催し

### 本山

- 11月22〜23日 秋の法要(全国門徒総追悼法要)
- 12月20日 御煤払
- 12月31日 除夜会

### 和歌山教区

- 11月4日 ビハーラ和歌山

### 教区内各組

#### 和歌山組

- 11月1日 お寺へイコラス練習(念誓寺)
- 11月7日 仏教婦人会連盟報恩講(宗善寺)
- 12月3日 第3回組内会、僧侶寺族研修会(鷺森別院)、懇親会(がんこ六三園)
- 12月19〜20日 念仏奉仕団
- 12月24日 キッズサンガ
- 和歌山東組 11月下旬 組会(鷺森別院)
- 和歌山西組 11月未定 組内会(光源寺)
- 12月11日 組内会(願成寺)
- 海南組 12月3日 人権啓発推進僧侶・寺族研修会(光徳寺)
- 12月3日 組内会(報徳寺)
- 海草組 12月17日 組内会(教尊寺)
- 伊那組 12月8日 組内会(光明寺)
- 有賀組 12月10日 第2回組内会(正善寺)
- 有田南組 12月上旬 住職・僧侶研修会(善照寺)
- 有田北組 10月22日 組協議員会(光明寺)
- 12月17日 臨時組内会、僧侶・寺族研修会(橋家)
- 日高組 12月10日 キッズサンガ(円明寺)
- 12月11日 真宗法座(蓮尊寺)

# つれもて 聴こら

お寺の本堂で仏さまがご安置されている場所を内陣と申します。内陣は、仏さまの世界であるお浄土を表しています。私たちはお浄土を直接拝見することはできませんが、お経さまのお言葉や内陣のお荘厳を通して、そのありさまを思い描くことができます。

『仏説阿彌陀經』にはお浄土という世界のこと、「無有衆苦・但受諸樂・故名極樂」と説かれています。「ものものの苦あることなく、ただももの樂を受く。ゆるに極樂と名づく」。お浄土には苦しみがなく、さまざまな樂のみを受けられるので「極樂」と名付けられる、と説かれています。

## 庵戸真教

極樂は「樂の極み」と書かれますが、一体どのような世界なのでしょう。ある先生が、極樂というのとは比べることはない世界であ

ると教えていただきました。私たちは日常生活のなかで、あらゆる物事を損か得か高いか安いかといった見



## 一人ひとりがあるのまま輝く

私には小学一年生の娘がおります。どこの塾へ行ったらいいか、どんな習い事をしたらいいか、お参りに行ったご門徒のお宅などでリサーチをして、娘に勧めておりました。

しかし、よく考えてみると、これは本当に娘のためでしょうか。この子にはいい高校へ行って、いい大学へ行って、いい会社に勤めてほしいという自分の思いを、おまえのためだと心のなかで言いながら押し付けてしまっていたのです。

『仏説阿彌陀經』にはまた、「青色青光・黄色黄光・赤色赤光・白色白光」というお言葉があります。お浄土では、青い花は

ることなく、自らのありのままの光を放って輝いているというのです。

阿彌陀さまは、あらゆるいのちを平等に見てくださいます。一人ひとりを尊い存在であると見てくださいます。あなたはそのままです。尊い光を放っているのですよ、とおっしゃってください。

そして、その阿彌陀さまのはたらきが「南無阿彌陀仏」のお念仏となって、私たちの口から出てくださっています。

たとえ人生のなかで孤独や不安を感じることがあっても、決して一人ぼっちではありません。阿彌陀さまが、いつでもどこでもどんなときでも一緒にいてくださっているのです。

ですからお念仏を申させていだいて、安心してお浄土への人生を阿彌陀さまと共に歩ませていただきます。と思います。

(奈良県橿原市雲梯町・西應寺) 9月15日の鷲森別院常例法座の法話から

# お浄土は比べることもない世界

方で比べていきます。例えばスーパーに買い物に行ったときは、商品を比べて自分にとって役に立つか立たないかを選んで購入します。そして、割引されている物

自分にとって役に立つか立たないのか、貴重な存在なのかをどうではないのかということを比べています。ということ、同時に自分も相手から比べられている

幸せを感じる瞬間があるかもしれない。しかし逆に、相手より劣っていると思うことで劣等感や孤独を感じ、苦しくなり、生きづらくなってしまうこともあります。

青い光を放ち、黄色い花は黄色い光を放ち、赤い花は赤い光を放ち、白い花は白い光を放っていると説かれています。お浄土ではそれぞれの花が、他の花と比べ